株式会社三洋堂ホールディングス

平成 26 年 5 月 9 日

各　　位

会　社　名　株式会社三洋堂ホールディングス
代表者名　代表取締役最高経営責任者兼最高執行役員　加藤　和裕
（東証ＪＡＳＤＡＱ　コード番号:３０５８）
問合せ先　取締役執行役員人事総務部長　伊藤　勇
（ＴＥＬ：　０５２－８７１－３４３４）

特別損失（減損損失）の発生及び連結業績予想の修正に関するお知らせ

この度、平成 26 年 3 月期に下記の特別損失が発生する見込みとなりましたので、お知らせいたします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 25 年 5 月 14 日に公表した連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．特別損失の発生及びその内容

平成 26 年 3 月期決算において「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、収益性の低下が見込まれる一部店舗の建物等の固定資産について、減損損失 3 億 92 百万円を特別損失に計上いたします。

２．平成 26 年 3 月期 連結業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	25,000	340	320	110	18.96
今回修正予想（B）	25,312	516	506	△37	△6.46
増減額　（B－A）	312	176	186	△147	－
増減率　（%）	1.3	52.0	58.2	－	－
（ご参考）前期実績（平成 25 年 3 月期）	26,206	543	520	143	24.73

（修正の理由）

売上高は、主力の書店部門とレンタル部門で予想を上回る見込みとなったため、全体では前回予想を 3 億 12 百万円上回る 253 億 12 百万円となる見込みであります。また、販売費及び一般管理費においては、予想より減価償却費が 80 百万円、備品費が 41 百万円下回る見込みとなるなど、予想より 1 億 41 百万円減少する見込みとなるため、営業利益は前回予想を 1 億 76 百万円、経常利益は 1 億 86 百万円上回る見込みです。

しかし、前述の「１．特別損失の発生及びその内容」に記載の特別損失が見込みを上回ったことから、当期純利益は前回の予想を 1 億 47 百万円下回る 37 百万円の当期純損失となりました。

（注１）配当につきましては、平成 25 年 5 月 14 日に公表したとおり第 2 四半期末 4 円、期末 4 円 50 銭（年間 8 円 50 銭）とさせていただく予定であります。

（注２）上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいております。従いまして、実際の業績は、今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以上